

令和5年度下半期

(令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

泉大津市水道事業業務状況説明書

泉大津市都市政策部水道課

泉大津市水道事業業務状況説明書

令和5年度下半期(令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

I. 概況

1. 総括事項

(1) 給水の状況

当期末の給水人口は、72,921人で前期末の73,128人より、207人(0.28%)の減少となりました。

なお、令和5年度中の一日の最大、最小及び平均給水量は、次のとおりです。

最大配水量	7月26日	23,307 m ³
最小配水量	8月15日	19,450 m ³
平均配水量		21,938 m ³

(2) 建設事業の状況

配水管網の整備として、配水管布設替工事(口径75mm～350mm 延長3,252m)及び配水管移設工事(口径150mm～350mm 延長29m)を施工した。

2. 普及の状況

区 分	令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在	増 加 数	増 加 率
行政区域内人口(A)	73,128 人	72,921 人	△ 207 人	△ 0.28 %
計画給水人口 (B)	81,000 人	81,000 人		
給水戸数 (C)	36,797 戸	37,048 戸	251 戸	0.68 %
給水人口 (D)	73,128 人	72,921 人	△ 207 人	△ 0.28 %
普及率(D÷A×100)	100 %	100 %		

3. 議会議決事項

番 号	件 名	提出年月日	議決年月日
認定第 2号	令和4年度泉大津市水道事業会計決算認定の件	令和5年9月13日	令和5年9月29日
議案第 9号	泉大津市水道事業給水条例の一部改正の件	令和6年2月27日	令和6年2月27日
議案第 20号	令和5年度泉大津市水道事業会計補正予算の件	令和6年2月27日	令和6年2月27日
議案第 27号	令和6年度泉大津市水道事業会計予算の件	令和6年2月27日	令和6年3月22日
議案第 37号	令和6年度泉大津市水道事業会計補正予算の件	令和6年3月22日	令和6年3月22日

Ⅱ. 経理の概況

1. 予算の執行状況

(1) 収益的収入

科 目	予 算 額	上半期執行済額	下半期執行済額	確 定 額	予算額と確定額の比較
1. 水道事業収益	1,851,947,000 円	804,972,945 円	1,020,071,888 円	1,825,044,833 円	△ 26,902,167 円
1. 営業収益	1,642,722,000 円	770,740,892 円	816,661,839 円	1,587,402,731 円	△ 55,319,269 円
2. 営業外収益	209,225,000 円	34,232,053 円	203,410,049 円	237,642,102 円	28,417,102 円

(2) 収益的支出

科 目	予 算 額	上半期執行済額	下半期執行済額	確 定 額	予 算 残 額
1. 水道事業費用	1,710,299,000 円	451,581,746 円	1,154,732,948 円	1,606,314,694 円	103,984,306 円
1. 営業費用	1,613,861,000 円	424,395,242 円	1,128,619,229 円	1,553,014,471 円	60,846,529 円
2. 営業外費用	91,438,000 円	27,186,504 円	26,113,719 円	53,300,223 円	38,137,777 円
4. 予備費	5,000,000 円	0 円	0 円	0 円	5,000,000 円

(3) 資本的收入

科 目	予 算 額	上半期執行済額	下半期執行済額	確 定 額	予算額と確定額の比較
1. 資本的收入	611,485,000 円	0 円	550,642,100 円	550,642,100 円	△ 60,842,900 円
1. 企業債	531,800,000 円	0 円	472,000,000 円	472,000,000 円	△ 59,800,000 円
2. 工事負担金	15,825,000 円	0 円	15,755,600 円	15,755,600 円	△ 69,400 円
4. 他会計負担金	13,860,000 円	0 円	12,886,500 円	12,886,500 円	△ 973,500 円
5. 投資	50,000,000 円	0 円	50,000,000 円	50,000,000 円	0 円

(4) 資本の支出

科 目	予 算 額	上半期執行済額	下半期執行済額	確 定 額	翌年度繰越額	予 算 残 額
1. 資本の支出	1,232,474,000 円	166,482,449 円	894,205,393 円	1,060,687,842 円	59,829,000 円	111,957,158 円
1. 建設改良費	1,045,606,000 円	73,534,097 円	800,286,567 円	873,820,664 円	59,829,000 円	111,956,336 円
2. 企業債償還金	186,868,000 円	92,948,352 円	93,918,826 円	186,867,178 円	0 円	822 円

2. 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債

借入先	上半期末残高	下半期		本年度末残高
		借入高	償還高	
財務省	1,394,988,488 円	0 円	52,020,699 円	1,342,967,789 円
地方公共団体金融機構	1,734,442,281 円	472,000,000 円	41,898,127 円	2,164,544,154 円
計	3,129,430,769 円	472,000,000 円	93,918,826 円	3,507,511,943 円

(2) 一時借入金

前期末残高	本年度下半期借入高	本年度末残高
0 円	0 円	0 円

Ⅲ. 業務の概況

1. 受水量

(単位: m³)

区 分	上半期小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期小計	合 計	構成比率
大阪広域水道企業団	4,015,920	701,010	668,550	684,889	673,700	623,080	665,100	4,016,329	8,032,249	100.0%

2. 配水量

(単位: m³)

区 分	上半期小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期小計	合 計
配水量	4,014,472	700,779	668,306	684,621	673,441	622,833	664,854	4,014,834	8,029,306
一日平均配水量	21,935	22,605	22,277	22,085	21,724	21,477	21,447	21,936	21,938

3. 用途別給水量

(単位: m³)

区 分	上半期小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期小計	合 計	構成比率
家事用	3,007,163	542,482	477,368	521,454	489,778	545,295	445,035	3,021,412	6,028,575	80.2%
一般用	621,207	100,286	105,530	93,907	103,535	94,380	95,051	592,689	1,213,896	15.9%
官公署用	107,197	21,835	15,709	18,886	13,256	19,711	12,504	101,901	209,098	2.7%
公衆浴場用	9,554	1,481	1,723	1,630	1,644	1,952	1,533	9,963	19,517	0.2%
臨時用	6,242	405	1,125	393	1,011	298	1160	4,392	10,634	0.2%
福祉施設用	28,225	5,016	4,430	5,060	4,727	5,203	4,964	29,400	57,625	0.8%
消防水量他	0	0	0	0	0	0	1,245	1,245	1,245	0.0%
計	3,779,588	671,505	605,885	641,330	613,951	666,839	561,492	3,761,002	7,540,590	100.0%

4. 電力使用量

(単位: kwh)

区 分	上半期小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期小計	合 計
中央配水場	460,551	76,709	74,935	69,707	71,787	72,618	67,501	433,257	893,808
汐見配水場	2,164	378	354	336	378	637	934	3,017	5,181
豊中受水所	3,819	856	633	624	700	564	551	3,928	7,747
小津島監視所	8,191	189	225	1,397	3,004	2,354	2,525	9,694	17,885
その他(板原・助松モニター)	829	119	141	209	248	210	222	1,149	1,978
計	475,554	78,251	76,288	72,273	76,117	76,383	71,733	451,045	926,599

5. 水道料金の収入額(令和5年度分)

区 分	上半期小計	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期小計	合 計
調定額 (円)	768,008,592	134,429,262	124,702,986	126,254,095	126,143,896	132,207,959	112,626,711	756,364,909	1,524,373,501
収入額 (円)	618,172,030	127,926,815	133,733,009	126,879,092	126,761,234	123,440,999	132,009,916	770,751,065	1,388,923,095
未収額 (円)	149,836,562	6,502,447	△ 9,030,023	△ 624,997	△ 617,338	8,766,960	△ 19,383,205	△ 14,386,156	135,450,406
収入率 (%)	80.49	95.16	107.24	100.50	100.49	93.37	117.21	101.90	91.11

6. 工 事
建設改良工事の概況

区分	工事区分	件数	工事内容		工事費	着工年月日 竣工年月日
配水管整備	改良工事	19 (2)	配水管布設替工事 φ75～φ350 舗装復旧工事	3,252m 7,005㎡	827,921,600	R5.4.26
						R6.3.29
		1	配水管移設工事 φ150～φ350	29m	13,329,800	R5.6.16 R5.9.15
	小計	20 (2)	φ75～φ350 舗装復旧工事	3,281m 7,005㎡	841,251,400	
計	20 (2)		3,281m 7,005㎡	841,251,400		

件数の()は、内舗装復旧工事件数

令和6年度泉大津市水道事業会計予算の概要

1. 収益的収支

収 入 の 部		支 出 の 部	
予 算 科 目	予 算 額	予 算 科 目	予 算 額
1. 水道事業収益	1,866,768,000 円	1. 水道事業費用	1,781,097,000 円
1. 営業収益	1,664,238,000 円	1. 営業費用	1,659,445,000 円
(1)給水収益	1,566,426,000 円	(1)原水及び浄水費	758,702,000 円
(2)受託工事収益	23,544,000 円	(2)配水及び給水費	267,228,000 円
(3)その他の営業収益	74,268,000 円	(3)受託工事費	20,798,000 円
2. 営業外収益	202,530,000 円	(4)業務費	120,008,000 円
(1)受取利息	382,000 円	(5)総係費	97,287,000 円
(2)他会計負担金	10,788,000 円	(6)減価償却費	388,713,000 円
(3)他会計補助金	7,718,000 円	(7)資産減耗費	6,709,000 円
(4)加入金	45,995,000 円	2. 営業外費用	89,772,000 円
(5)長期前受金戻入	130,198,000 円	(1)支払利息	56,436,000 円
(7)雑収益	7,449,000 円	(4)雑支出	3,336,000 円
		(5)消費税	30,000,000 円
		3. 特別損失	26,880,000 円
		(5)その他特別損失	26,880,000 円
		4. 予備費	5,000,000 円
		(1)予備費	5,000,000 円

2. 資本的収支

収入の部		支出の部	
予算科目	予算額	予算科目	予算額
1. 資本的収入	434,482,000 円	1. 資本的支出	1,007,057,000 円
1. 企業債	302,000,000 円	1. 建設改良費	816,497,000 円
(1)企業債	302,000,000 円	(1)事務費	17,845,000 円
2. 工事負担金	119,810,000 円	(7)堺泉北港水道施設費	40,168,000 円
(1)工事負担金	119,810,000 円	(8)配水管整備費	733,098,000 円
4. 他会計負担金	12,672,000 円	(10)営業設備費	25,386,000 円
(1)他会計負担金	12,672,000 円	2. 企業債償還金	190,560,000 円
		(1)企業債償還金	190,560,000 円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額572,575千円は、建設改良積立金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

3. 経営方針

本市の現状において、給水人口の減少及び節水家電等の普及による水需要が年々減少していることから、給水収益も平成11年度をピークに減収となっている。

このような状況のもと、経営に当たっては常に企業としての経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に寄与する方針を踏まえ、配水管網の整備、老朽配水管の更新及び水道施設の耐震化を進めるとともに、水道の目的であるより安全で良質な水の安定供給に努めている。

消費税及び地方消費税の税率変更に伴い平成26年4月から水道料金等を外税方式に改定し経営の健全化を図っているが、将来も水需要の減少による厳しい状況が予測され、令和元年10月1日から税率変更後の消費税及び地方消費税が適用され、さらに大阪広域水道企業団より安価な単価で用水供給事業を行っていた泉北水道企業団が令和3年3月31日に解散したことから、今後とも徹底した経常経費等の節減、効果的な事業の選択及び創意工夫による効率的な事業運営に努力し、事業計画及び財政状況を十分に見極め経営の健全化に努める。